

JForest

森林組合だより

令和6年6月30日

発行

第 149 号



第30回 通常総代会

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp

第30回 本荘由利森林組合通常総代会 開催

令和6年5月30日（木）、ホテルアイリスを会場に、第30回通常総代会を開催しました。

小松組合長の挨拶に続いて、秋田県議会議員加藤鉦一様、由利地域振興局長様（代理）、農林中央金庫秋田支店長様（代理）から御祝辞をいただきました。

多くの総代の皆様にご出席いただき、議長には由利地区総代の小濱仁氏が選任され議事が進行されました。

今年度は、組合員数の減少や高齢化に伴い総代定数の確保が困難になってきたため、次回の総代選挙より総代定数を300名から250名へと変更する議案を提出し、ご出席いただいた総代の皆様のご理解を賜り無事に承認可決いただきました。

【第30回 通常総代会議案】

- 第1号 令和5年度業務報告書の承認について
- 第2号 令和6年度事業計画の設定について
- 第3号 令和6年度賦課金の徴収について
- 第4号 令和6年度役員報酬について
- 第5号 借入金の最高限度について
- 第6号 債務保証の最高限度について
- 第7号 余裕金の預入先について
- 第8号 定款一部改正について
- 第9号 定款附属書森林組合総代選挙規程の改正について
付帯決議

《総代会出席者》

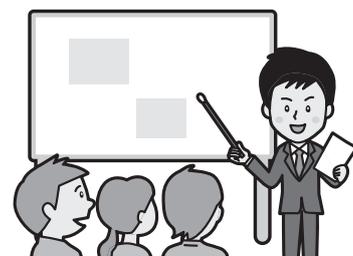
本人出席……107人
書面議決……115人

合計……222人
総代現在数……293人
出席率……75%



◎議案審議

議案第1号から議案第9号及び付帯決議までの審議が行われ、原案どおり承認可決されました。



… 質疑応答 …

【Q】年々、山への関心の薄まりを感じており、山を守り育てるという意識を高めるために森林環境譲与税が使われればありがたいと思っっているのだが、実際はどのような用途に使われるものなのか。

【A】森林環境譲与税は森林組合ではなく自治体に配分されるもので、行政との調整を図って組合員の利益になるような使い方ができるように努めたいと考えております。

【Q】由利本荘市、にかほ市への森林環境譲与税の配分について、具体的な金額がわかれば教えてほしい。

【A】由利本荘市は二億一千万円ほど、にかほ市は八千万円以上だったはずです。

【Q】総代定数減について、本荘地区の定数が減っていないのはなぜか。また、役員定数は変更しないのか。

【A】各地区の総代定数はそれぞれの組合員の減少数に応じて割り出しました。本荘地区は組合員数がほぼ変わっていないため定数もそのままになっています。役員定数については現在協議中です。



市民参加の森づくり植樹祭

令和6年5月10日（金）、西目地域の出戸町内を会場に第67回市民参加の森づくり植樹祭が開催され、当組合も参加いたしました。

この植樹祭は西目村時代から毎年開催されている行事で、市内外の関係団体や地域住民が70人ほど参加し、黒松の苗木240本を植樹しました。

中には慣れない作業で悪戦苦闘する方もいましたが、熟練の参加者にも助けられながら熱心に植樹作業に取り組んでいました。

会場となった場所は急速に進んでいる松くい虫の被害によって伐採された箇所で、この日用意された黒松の苗木は松くい虫に強い抵抗性を持つものです。

近年、こういった病害虫によって森林が脅かされる事態となっています。これ以上の被害を防ぐため、また希薄化する地域社会を活性化し住民同士の絆を深めるためにも、今後も皆様のご協力のもと、このような市民参加型の植樹活動を継続、及びさらなる発展につなげていきたいと考えております。



由利本荘警察署より安全指導

令和6年5月27日（月）、当組合製材所に由利本荘警察署警備課警備主任が来所し、災害から身を守るための安全指導を行い、緊急時の対応方法や避難のポイントについて詳しくご説明いただきました。

今回の安全指導は、先般の能登半島地震や毎年のように発生するゲリラ豪雨などの突発的な災害に対して適切に行動できるように促すためのもので、警備主任の齋藤巡查部長からは災害時には冷静な判断が重要であり、情報を確認し、早めの行動を心がけるようにとの助言を受け、さらに災害時の連絡手段や避難場所の確認方法についても説明を受けました。

参加した職員からは「日頃から安全意識が大切だと再認識した。」「避難経路や職員間の連絡手段を改めて確認できてよかった。」と話しており、近年は県内の製材工場で火災が多発している現状も鑑み、事業所内の安全を守るために今後も管内の警察署と協力し、職員一丸となって災害対策に取り組んでいくことを誓いました。



～ 造林補助事業のお知らせ ～

造林補助制度は、森林の整備を進めるための補助制度で、植栽から保育までの森林整備に対する国や県、市の助成制度です。

◆補助金を受けるための条件◆

1. 森林経営計画の認定が必要になります。
2. 整備を実施する面積 0.10ha 以上が対象となります。
3. 除伐、間伐を実施する場合は過去5年以内に補助金を受けていないこと。

施業種	補助採択条件	令和5年度実績
植栽	<p>【施業の内容】 伐採跡地などの林地を整理し、新たな森林をつくるために苗木を植え付ける作業を行います。</p> <p>【補助の対象】 林地の整理を行う地拵え・苗木の植え付け・苗木代</p>	74件 119.10ha
下刈	<p>【施業の内容】 植栽後の苗木が雑草木やつる等の影響で成長が阻害されないよう雑草木等を除去する作業を行います。</p> <p>【補助の対象】 7年生以下の人工林における雑草木等の除去</p>	222件 312.03ha
除伐	<p>【施業の内容】 植栽木の生育を阻害するような植栽木以外の雑木等を除去し、また植栽木で成長が不良な木を伐る作業を行います。不用木は全て除去します。</p> <p>【補助の対象】 11～25年生の人工林</p>	32件 36.27ha
枝打ち	<p>【施業の内容】 節がなく品質の高い木材を育てるため、また虫害を防ぐため枯れ枝を付けないよう一定の高さまで枝を落とす作業を行います。</p> <p>【補助の対象】 11～30年生の人工林</p>	26件 42.59ha
間伐	<p>【施業の内容】 過密になった林内を密度調整することで、光が林内に差し込み幹や根が太く発達し健全な林分へ導きます。25%程度の伐採(間引き)を行います。</p> <p>【補助の対象】 保育間伐: 11～60年生の人工林 搬出間伐: 11～100年生の人工林</p>	72件 240.23ha

補助金を受領後、5年間は皆伐や開発等により林地外に転用することが出来ません。

近年、風力発電や太陽光発電などによる用地売買、又は立木の売買などが増えています。山林の売買があった場合でも、5年以内に伐採や開発等をした場合は、当時の補助金受領者の責任となりますので、ご注意ください。

…………… 令和6年度 組合職員紹介 ……………

本所



西目木材流通センター



仁賀保支所



矢島支所



岩城支所



由利支所



鳥海支所



東由利支所



大内支所



西目製材所



木材市況情報 (令和6年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m 当り 価格

樹種	材長 m	径級 cm	4月3日			5月2日			6月4日		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	14下									
		16~22	(3, 821) 13, 759	(3, 820) 13, 752	(3, 820) 13, 755	(3, 299) 11, 879	(3, 194) 11, 499	(3, 228) 11, 621	(3, 336) 12, 012	(2, 828) 10, 182	(3, 249) 11, 699
		24~34	(4, 149) 14, 939	(3, 971) 14, 297	(4, 071) 14, 657	(3, 598) 12, 956	(3, 227) 11, 619	(3, 451) 12, 425	(3, 403) 12, 254	(2, 735) 9, 849	(3, 336) 12, 011
出材量・販売量・販売率			597m ³ (2,149石)・597m ³ (2,149石)・100%			605m ³ (2,178石)・576m ³ (2,073石)・95%			437m ³ (1,573石)・403m ³ (1,450石)・92%		

4月：常連の参加で完売。各社とも原木在庫は少ないが、厳しい製品市況を反映して強気な価格出しはできず、横ばいの推移。来月以降も同様の展開か。
5月：常連の量産工場が原木在庫が豊富なことから模様眺め。製品市況も依然振るわないこともあり、やや弱含み。一部やや材質の劣るものは弱含みでの取引に終始。
6月：応札枚数が1枚と、引き合いは弱くなった。製材品市況の低迷で単価も弱含み。

令和6年度 新採用職員の紹介

4月1日より新しいメンバーが加わりましたのでご紹介します。

技能職員



しいな ゆうと
椎名 優斗

●造林課●

本所造林班(庄司班)

林業大学校で学んだ知識を活かして組合ひいては社会に貢献できるよう尽力します。

技能職員



すだ まさのり
須田 聖徳

●林産販売課●

本所林産班(高野班)

林業大学校での経験を機械操作や伐倒などの仕事に役立てて、一日でも早く戦力になれるように努力します。

技能職員



いとう りゅうと
伊藤 竜斗

●林産販売課●

西目木材流通センター

木材の仕分けや機械操作などの難しい仕事を少しずつ覚えて、自分の仕事に誇りを持つるように精一杯頑張ります。

森林組合だより 令和六年六月三十日発行 印刷・筒由利印刷

退職者のお知らせ

●令和6年4月30日付

【技能職員】

林産販売課 矢島林産班(小沼班) 小沼 大輔

人事異動のお知らせ

●令和6年4月1日付

【職員】

林産販売課長 阿部 久
 造林課長補佐(課長待遇) 今野 正哲
 加工課長 小野 達也
 林産販売課長補佐 植田 潤一
 本荘支所長兼林産販売課長補佐 遠藤 佳苗
 清 水 翼
 【技能職員】
 造林課本所造林班(庄司班) 庄司 和也
 林産販売課本所林産班(高野班) 田口 孝志
 加工課バイオマス班(小川班) 田口 孝志
 加工課バイオマス班(伊藤班) 齋藤 智之
 加工課バイオマス班(小川班) 齋藤 尚
 【臨時職員】
 林産販売課矢島林産班(小沼班) 兼本所薪担当 茂木 牧夫
 ●令和6年6月1日付
 【職員】
 矢島支所課長補佐 兼林産販売課長補佐 矢島 武
 矢島支所係長兼林産販売課係長 東田 智和
 東田 智和